

下街道さんさくウォーク

第1回実施報告（榎ヶ根追分～JR釜戸駅）

平成25年9月21日（土曜日）多治見観光ボランティアガイドは、「中部地域づくり協会」の補助を受け、東濃地区の発展に寄与してきた歴史ある「下街道」の再生により、町おこしの一助として活性化につなげることを目標に「街道歩き」を開始。中山道の榎ヶ根追分から名古屋伝馬町の札の辻まで約57Kmを7回に分けて歩き通す計画をたて、その第1回目 榎ヶ根追分～JR釜戸駅までの約10Kmを歩いた。

JR多治見駅を午前8時30分に40名が集まり、バスで榎ヶ根まで向かい、協和ダンボールの前の追分に有った石灯籠前で、武並町史編集者の伊藤利貞氏（恵那・中山道かたりべの会）に説明と案内をお願いした。ここから恵那から3名瑞浪から3名の総勢46名で歩いた。途中 伊藤氏の調査で我々の知らない旧下街道の案内もあった。

恵那市と瑞浪市の境・境橋から瑞浪・みずなみかたりべの会、事務局長 可知正巳氏が先導・解説をお願いした。JR釜戸駅には午後2時頃全員完歩した。



榎ヶ根立場から移設された協和ダンボール前の「笠塔婆」「常夜灯」前で



中日新聞に掲載される



榎ヶ根立場から下街道へ

主催 多治見観光ボランティアガイド

協力 多治見市観光協会 国土交通省土岐川出張所

この事業は「一般社団法人中部地域づくり協会」の助成を受けています。